

Take
Free

SEISEKI

聖蹟人

聖蹟桜ヶ丘“People”ガイド

大人も子どもも楽しもう。
聖蹟桜ヶ丘には
話したくなる春がある。

#3



SEISEKI
PEOPLE

1

地域と共に歩んで 51 年！ 親子で学ぶ、聖蹟桜ヶ丘の“おおきな家”

多摩市一ノ宮にあるバオバブ保育園は、1973年の開園以来、50年以上にわたって聖蹟桜ヶ丘の変遷を見つめてきた。バオバブ保育園で園長を務める山根孝子さんに、セイセキの今昔話を聞いてみた。

Interview, Text: Akira Andoh

大人も子どももみんなが支え合う場所

1月某日、午前10時。早春を思わせる穏やかな日差しの中、子どもたちが元気に園内を駆け回っている。訪れたのはバオバブ保育園（多摩市ノ宮）。1973年4月の開園以来、聖蹟桜ヶ丘のまちの歴史に寄り添いながら、歩みを進めてきたことで知られる“学びの場”だ。話を聞いたのは、開園当初から同保育園に勤める山根孝子さん。当時の様子をこんな風に回想する。

「当時は多摩センター駅も永山駅も開業直前で、多摩ニュータウンにお住まいの人たちも、バスで聖蹟桜ヶ丘駅まで来てから都心部に出勤なさっていました。まだ保育園の前の道路も舗装されていなくて、雨の日は長靴が必要だったのを覚えています」

1971年から諏訪団地・永山団地の第一次入居が始まり、地域の人口は急激に増加。世の中は第二次ベビーブームでもあった。

「新しく多摩市に移り住む人たちが一気に増えた時代でした。夫婦共に仕事に出て家事をする。そんなスタイルが広まりつつありました。親族も知り合いもない

い中、初めての子育てを経験する若い世代が増えていったと記憶しています」

子育て世代のママ・パパにとってバオバブ保育園は、地域とのつながり、新しい関係をつくる場でもあった。

「昔は公共施設やサービスが今ほど整っていなかったので、保護者同士が連携して情報交換したり、助け合ったりすることがとても重要でした。例えば、延長保育の制度がなかった頃は、お迎えの時間に間に合わないことは大変な悩みでした。地元の人でしたらおじいちゃんやおばあちゃんにお迎えを頼むこともできるかもしれませんが、新しく住み始めた人にとっては難しいですよね。親御さん同士、仲間として協力し合う姿勢が大切でした。保育園が施設としてサポートできることに限りはありますが、その難しさを補うことができればと思います、これまで園を運営してきました。小学校に上がっても学童が早く終わってしまうので、お迎えに間に合わない問題は続きます。そんな時に、卒園生たちが、バオバブ保育園で行っている自主的な延長保育の時間にやってきて過ごすことは日常のひとつ

マでしたね」

聞けば、卒園生たちが「ただいま〜！」と、学校帰りにバオバブ保育園に遊びにくることも多々。山根さんたち保育士は、そんな子どもたちを笑顔で迎えたそう。

聖蹟桜ヶ丘に保育園を構えて半世紀。共働き家庭を支える環境も整備されつつある反面、保護者同士が自力で助け合う機会が減り、昔のような家族ぐるみの付き合いは少なくなったかもしれない。しかしそうした中であっても、変わらない思いがある。

「やっぱり園を利用していると、自分のお子さんだけでなく、他のお子さんの成長を感じる機会も多いんですね。親御さん同士で『〇〇ちゃん大きくなったね』と驚いている姿を見ると、誰かと一緒に育つことを喜んでいるように見えます。保育園は、親子共に、いろいろな人と一緒に生きる実感を育む場所かもしれないですね」

保育園は単なる施設ではなく、人が集まる場だと、山根さんは言う。

「だからバオバブ保育園は、職員が作った園というよりも、利用する親子はもちろん、地域全体でつくってきた園なんだと思います」



左：園庭の砂場は、保護者と協力して自力で作ったもの。右上：給食は調理員の先生が園内で作る。右中：園児たちが作った色とりどりのおもちゃ。右下：気ままに過ごすアヒルは園のマスコット。



バオバブ保育園

社会福祉法人 バオバブ保育の会が運営する保育園として、1973年4月に開園。泥まみれになって遊べる園庭を持ち、50年以上にわたって人気を集めている。他に若葉台バオバブ保育園、バオバブちいさな家保育園、バオバブ霧が丘保育園、喜多見バオバブ保育園、第一小学童クラブ、東寺方小学童クラブを運営。2020年にバオバブ保育園の園舎改築工事を行い、2021年に新園舎での保育を開始。旧園舎で人気のあった「屋上の大斜面」は卒園生の強いリクエストから、新園舎にも引き継がれている。

大栗橋のたもとで営業中♡

欧州スタイルの みんなの居場所

切り盛りするのは、聖蹟桜ヶ丘で生まれ育ったご主人と、イタリア・マンマ直伝の家庭料理を振る舞う奥さま。今年で10周年、愛され続けるワケとは？

Interview、Text：Nobuko Matsutake / Photo：KAEDesign

SEISEKI
PEOPLE
2

Cafe de Fleurus27

📍 多摩市関戸 4-10-11 Bateau Lavoir

🕒 11:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

平日は 15:00 ~ 17:30 休憩 定休日：火・水

📞 050-5486-5708 <https://cafedefleurus27.gorp.jp>



肩肘張らずに“本場の味”を気軽に味わえる良店

大栗川に沿って下流へ歩くと、大栗橋のたもとに見えてくるガーデンパラソルと開放的なガラス窓。聖蹟桜ヶ丘駅東口から徒歩7~8分、関戸方面への角地に建つ、ランドマーク的なイタリアンカフェ「Cafe de Fleurus27」(カフェドフルリュス27)だ。

印象的な店名の由来は「1900年代のバリ、フルリュス通り27番地。そこに住んでいたアメリカ作家のガートルード・スタインにあやかって」と、店主の富澤隆義さん。画商でもあった彼女の住居は、当時は無名のピカソやマティスなど芸術家が集うサロンにもなっていたと

のこと。そんな逸話をお聞きすると、改めてカフェの中に飾られたゴダールのポスターやコントラバス、書物などが気になってくる。

このカフェの原点でもある隆義さんと妻のラウラさんの出会いは、ロンドン。ラウラさんの故郷・スイスでの暮らしを経て、隆義さんの実家のこの地で「2人で一緒にできることを」と始めたそう。「ヨーロッパのカフェのような場をつくりたくて」と隆義さん。散歩の途中で愛犬同伴で訪れる人の姿も、ここでは日常のひとコマ。「それが向こう(欧州)では普通なので」とラウラさん。店内はいつ

訪れても開放的な雰囲気だ。

チーズや野菜など、厳選されたフレッシュな食材によるメニューはどれも絶品。ワインもクラフトビールも店主自ら厳選したものが揃う。目を引いたのは日本酒。「小山商店さんのもの(P8-9)」と隆義さん。関戸エリアとのご縁はこんなところにもある。

お2人が心がけているのは「一日一日を大切に、丁寧に」とラウラさん。お店



は今年で10周年。お2人の思いが伝わる一皿を探しに、ぜひ。

犬を連れての来店OK。テラス席も用意。

季節は春うらら♪

多摩川河川敷で食べたい

テイクアウトフード6選

Text: Haruka Furumae

presented by
多摩の検索ちゃん



多摩の検索ちゃん

多摩地域のグルメ&おでかけの達人としてフォローワー数1.8万人を誇る大人気インスタグラマー。

@tama_kensaku_chan

セイセキのオススメ。

聖蹟桜ヶ丘エリアでおすすめのテイクアウトグルメって何？

小誌のこんなリクエストに“多摩の検索ちゃん”が答えてくれました！

「Madre」の スパイスカレー



Madre

～ハーブとスパイスのワイン食堂～

📍 多摩市関戸 2-37-3

京王聖蹟桜ヶ丘 SC さくらゲート 1F

🕒 ランチ 11:30～15:00 (L.O.14:30)

ディナー 平日&祝前 18:00～22:00、

土日&祝日 17:00～22:00 (共に L.O.21:30)

☎️ 042-400-7108 月・火曜ディナー休

初心者にもオススメなスパイスカレー！無類のカレー好きの店主が作る10種スパイスを使ったカレーは、一度食べたらくせになる美味しさ♪彩り豊かな盛り付けは、青空の下で「映え」確定です◎
2種あいがけ (1300円)

「くさびや」の PAK PAK セット



おむすびカフェ

くさびや

📍 多摩市関戸 4-34-15

☎️ 042-401-8988

水曜、第2・4木曜、日曜休&不定休

子どもも大人も思わず「美味しい！」と呟く、おむすび！メニューは週替わりなので行く度に異なるラインナップに出会えてワクワク！クスッと笑っちゃう商品名にも大注目♪

PAK PAK セット

(700円)

「グラシアス」の 唐揚げ&レモネード



グラシアス
(キッチンカー)

📍 サクテラスモール前

🕒 不定期営業 ☎️ 080-3476-1050

せいせきカワマチのキッチンカースペースに時折出店しているキッチンカー。注文を受けてから揚げるできたての唐揚げは、ジュワッ&カリッと小腹を満たす！スカッと飲める「レモネード」も春のあたたかな陽気にオススメ♪ 唐揚げ4個 (500円)、レモネード (500円)



「Cafe 開」の ハッシュドポーク サラダ付

Cafe 開

📍 府中市四谷 1-63-20

🕒 11:00～18:00 (ランチ L.O.13:30)

☎️ 042-335-4370 火・水・木曜休

関戸橋を府中側に渡った、川沿いの住宅街にある「本当は教えたくない穴場のお店」。日替わり2種ランチをテイクアウトできるよ♪事前に電話でテイクアウトの問い合わせをしてね！ハッシュドポーク サラダ付 (1200円)

「R Baker」の 印西カレーパン



R Baker

📍 多摩市関戸 1-10-1

京王聖蹟桜ヶ丘 SC B館 2F

🕒 8:00～20:00 ☎️ 042-337-2344

生地はモチモチ、中はぎゅっしり！ゴロッと柔らかい唐揚げが詰まって、カレーとの相性抜群◎「これを食べたら、また河原で走り回れる！」そんな元気をもらえるカレーパン！
印西カレーパン (380円)

「花鳥風月」の和菓子



和菓子処 花鳥風月

📍 多摩市東寺方 1-8-14

🕒 10:00～17:00

☎️ 042-400-0607 第2・4月、木曜休

ご夫婦で営む街の和菓子屋さん。小さなお子様も楽しめる、可愛らしいネーミングの和菓子が沢山！個包装で手軽に食べられるサイズ感の和菓子は、川沿いのお散歩グルメに最適！

いちご大福 (400円)、

チビにゃん (280円)、

どら焼き (320円)

“365日野草生活”で話題沸騰中!

野草愛好家に聞く、 多摩川河川敷「春の野草」ガイド

SEISEKI
PEOPLE
3

のんさん

多摩川など年間100回の植物観察会を開催し、メディアやSNSでも身近な植物の面白さを広める活動を行う。
@365nitiyasou 問い合わせ:
365nitiyasou@gmail.com



聖蹟桜ヶ丘駅から歩いてすぐの多摩川。芽吹き春に思いを馳せながら、のんさんに多摩川の野草観察のポイントについて聞いてみた。

Interview、Text、Photo: Tamaki Onda

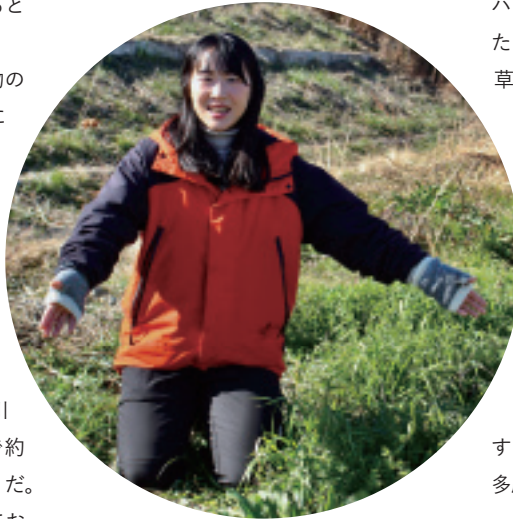
駅徒歩5分に100種類!? 野草の世界にズームイン

一見すると、枯れ草が目立つ1月中旬の多摩川河川敷。野草愛好家・のんさんと歩けば、そこは野草の楽園だった。聞けば、1200種類の野草を見分けられるとのこと。

観察会では五感で体験し、その植物のストーリーを紹介する。「この葉っぱには細かいトゲがありますが、なぜでしょう?」「新芽がネバナネしています!触ってください」……じっくり観察していると、いつもなら5分で通りすぎてしまう距離もあっという間に1時間が経過。今回の取材でも数多くの個性豊かな野草たちに出会うことができた。多摩川のほとりに水草も含めると年間で約200~300種類もの野草が見られるそうだ。

個人からのガイド依頼も受け付けており、観察会のテーマも多彩。「参加者の『こんなことがしたい!』という思いを大事にしています」と、のんさん。例えばこ

れまでには、ラーメン作りが好きな人が集う「ラーメンの具になる野草」観察会や、リクガメ飼育者のための「エサになる野



草」観察会などもガイドしたそう。のんさん自身も、飼っているうさぎが食べられる植物を知りたいと思ったのが野草に

ハマったきっかけ。自然観察は、人間の暮らしに向き合うことでもあるのだ。「野草を知ることで暮らしが豊かになればハッピーですね」と明るく話してくれたのんさん。時間を共にすることで、野草に親しみながら多摩川の自然を大切にしたい、多摩川をもっと知りたい!という気持ちが膨らんだ。

野草観察の初心者はず「図鑑を片手に歩く」のがおすすめだそう。多摩川流域の野草に特化した図鑑もあり「ゲーム感覚でコンプリートを目指す楽しみもあります」とのんさん。見慣れた世界の解像度が上がり、身近な風景が宝探しに一変する野草観察の世界。この春、皆さんも多摩川で一歩踏み出してみては?



のんさんの野草豆知識



【ヘラオオバコ】

葉を放射状に平らに伸ばすことで、日光と地熱を効果的に取り入れています。



【ヤエムグラ】

細かなトゲを持つ葉や茎を使って他の植物に寄りかかります。そのため、葉がニット素材などの服にくっきます。



【ヨモギ】

春の若い葉は天ぷらにすると美味。味わいも良く、日常的に浸透している野草。草餅=ヨモギが定番化したのは江戸時代です。



【ノビル】

ニラやネギに似た香りで、チヂミや味噌汁に入れると美味しいですが、近くに似た形の毒草が生えていることがあるので注意。

【ギシギシ】

新芽はネバナネしており、「オカジュンサイ」とも呼ばれます。

【スイバ】

「酸っぱい葉」でスイバ。ギシギシに似ていますが、スイバは葉の付け根がYシャツの襟のような形をしています。

取材当日に見つけた野草 ヘラオオバコ、ヨモギ、シナダレスズメガヤ、ヨシ、ヤハズエンドウ、ヤエムグラ、カキドオシ、ノビル、コハコベ、スイバ、ギシギシ、カタバミ、ヘクソカズラ、メマツヨイグサ etc

京王聖蹟桜ヶ丘
SC 便り

Seiseki 38th Anniversary 開催中!



今回紹介するのは…
京王電鉄 SC 営業部
京増多美恵

せいせき
京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター

心豊かな日々を彩るお手伝いをしたい。聖蹟桜ヶ丘駅直結の駅ビルとして1986年に開業して以来、京王聖蹟桜ヶ丘SCは、お客様に安全・安心にご利用いただける施設づくりを進め、お買い物をする場だけではなくご家族と楽しい時間を過ごしていただけるショッピングセンターを目指して運営してきました。そして現在、38周年を記念し、さまざまなイベントやプレゼント企画をご用意した「Seiseki 38th Anniversary」を開催中(2024年4月末頃まで)。2月17・18日に開催した「せいせきミュージックフェス」では、多摩市を中心に活動する団体のダンスや演奏を多くの方に楽しんでいただきました。4月6・7日には聖蹟桜ヶ丘周辺の人気ショップがセンターコートに集合する「せいせき ツナガル マルシェ」を開催予定です。他にも、親子で楽しく学ぶ「防災フェス」なども開催。各種イベントの詳細についてはチラシやホームページにてご確認ください。

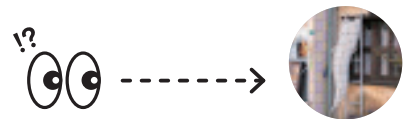


写真上：京王聖蹟桜ヶ丘SC A館6階アウラホールにて親子で楽しく学ぶ「防災フェス」を3月23日・24日に開催。中：2月17・18日には「せいせきミュージックフェス」を開催。下：4月6・7日には「せいせき ツナガルマルシェ」を開催予定。写真は2023年の様子



店主の國男さんはNHKの元カメラマン、奥さまの美苗さんは新劇の元女優さん。文学愛に満ちたお2人による考案で年4回「短冊コンテスト」を20年前から開催。店内にはお客さんによる俳句がずらり。「居酒屋 狼林」：多摩市一ノ宮 3-5-14 042-371-5902

あれ気になる!! 歩いて見つけた
せいせきの「珍光景」



「一反もめん」オブジェの真相調査!

聖蹟桜ヶ丘駅西口の交差点から川崎街道沿いに5分ほど歩くと、『ゲゲゲの鬼太郎』でお馴染みの「一反もめん」のオブジェを飾ったお店が現れる。「居酒屋 狼林」だ。切り盛りするのは店主の三浦國男さんと美苗さん、看板犬の祐真ちゃん。今年で47年目、先代から引き継いで27年、まちの変化を見続けてきた。「一反もめんは貰いものです。思いつきで始めた鬼太郎シリーズ(メニューに『目玉の親父』『ぬりかべ』『一反木綿』などがある)の創作メニューを面白がってくれたお客さんのご好意によるものです。近隣の方々から“一反もめんの店”と呼ばれるようになりました(笑)」と美苗さん。人気メニューは「狼林お好み焼き」と「オムレット」。取材時に食べ、どちらも美味。一見客には入りにくそうな店構えだが「30分座ると皆さん常連」という言葉のとおり、居心地抜群。笑顔になれる名店なのでした。

大正3年創業、言わずと知れた“日本酒の聖地”

小山商店がずっと考えてきた「聖蹟桜ヶ丘のこと」

Interview、Text : Tamaki Onda / Photo : KAEDesign



酒と人に正直に。 地域に愛される 商人の美学

時刻は9時45分。取材のため、朝の小山商店を訪れると長蛇の列ができていた。この日は埼玉県の地酒「花陽浴（はなあび）」の抽選販売が行われるということで、日本酒を愛する老若男女が開店前から待ち構えていたのだ。小山商店は、なぜこれほどまで人々を惹きつけるのだろうか？

小山商店のスタートは大正3年、多摩村の商店だ。関戸地区はいわば村の中心地で、昔から多くの人々が住んでいたそうだ。

「聖蹟桜ヶ丘駅前が開発されて多くのビ

ルが建設されましたが、鎌倉街道沿いの関戸地区はずっと変わらず、民家が並んでいます。住んでいる方も変わらないですね。みんな親しくて、何かあれば助けてくれる。関戸の良いところですよ」

そんな関戸地区で毎朝お得意様の御用聞きに回り、地域密着で商いを営んできた。時計の針が進み、昭和40年代に入ると聖蹟桜ヶ丘も様変わりしていった。周辺住民が増え、小山商店も繁盛した。

他方、コンビニやディスカウントストアが普及するにつれ酒屋は窮地に立たされる。父の跡を継ぐことになった喜八さんが考えたのは「地酒」に特化すること。地酒専門の間屋「日本名門酒会」の勉強会に参

加し、日本中の蔵元をめぐるようになった。

小山商店が他の酒屋と大きく違う点は、なんと言っても「蔵元を育てる」酒屋であるところだろう。喜八さんが四代目の喜明さんにいつも伝えていることは「売れるものを追いかけろな、良いものを育てて売れ」。

現在では全国の蔵元から「うちの酒を置いてほしい」とサンプルが届くほどになった。いくつもの酒を人気銘柄に育てあげてきた喜八さんは、酒文化の移り変わりにも敏感だ。「年配の方は昔ながらの決まったお酒を飲みたいけれど、若い人はせっかくなら良いお酒を飲みたいという方が多い。女性のお客さんも多いです」

小山商店は、全てのお酒を定価で売るこ

日本中の地酒と日本酒ファンが、ここ聖蹟桜ヶ丘の小山商店に集まっている。今年で創業 110 年を迎えた小山商店の三代目、小山喜八さんに“地域密着にこだわる”わけを聞いてみた。

小山喜八さん

1948 年生まれ。大学卒業と同時に父が社長を務める小山商店に入り、入社 3 年目から地酒を扱う。地方の酒蔵と信頼関係を築き、現在 300 蔵以上と特約店契約を結ぶ。

小山商店が大切にしている地域との関わり方



地域産の
お酒づくり

多摩市内の通称“原峰の里”（関戸地区）で自然に湧き出している水を利用した「あいがも農法」により収穫された麴米と、多摩川に近い一ノ宮と和田地区で収穫された掛け米による「原峰のいづみ」を企画。



地域産の
豆腐 & 味噌づくり

店内では北上豆腐店（多摩市百草）が手づくりした豆腐も販売。昔懐かしい味噌の量り売りもあり、多摩の味噌として知られる「原峰のかおり」（多摩市農産加工組合）も販売している。



さまざまな商品
を
ラインナップ

「よろずや」だった当時の想いを引き継ぎ、何でも販売する店でありたいんです」と喜八さん。その言葉どおり、小山商店には酒類のほか、調味料や卵、日用品までさまざまな商品が揃っている。



子どもも楽しめる
店づくり

酒屋ながら子どもたちにも楽しんでほしいという想いから、店内には駄菓子コーナーも常設。長女の名前を取って「よっちゃんのお店」と名付けられ、近隣の小学生の憩いの場となっている。

とにこだわる。希少な酒を高く売れば儲かるが、喜八さんは「うちはただ売ればいい、というお店ではない」と言い切る。希少な酒は転売対策として抽選販売を行うなど、本当に飲みたい人が買えるよう工夫しているという。蔵元との信頼関係を大切にすることで、「小山さんなら安心」という客からの信頼にもつながっているのだ。

喜八さんは「祖父、父の代から、正直に真面目にやるのが基本でしたね」と振り返る。では、これからの小山商店はどんなお店にしていけるのだろうか？ 喜八さんの答えは「代々継げるようなお店にいくことです」。110 年続く秘訣は、このサステナブルな考え方なのかもしれない。

現在も地域での配達サービスは続けており、特に高齢の方には喜ばれるという。お酒だけではなく野菜や日用品、灯油なども扱う。「続けるのは大変なんです。でも、なんとか地元貢献できればと思って、結局やるんです」。持ち前のサービス精神で、酒屋ながら子どもも楽しめる駄菓子スペースも店内に設けている。会話を楽しみにやってくる地元のお客さんとは、30 分も話し込むこともあるそうだ。

酒と人に誠実に、常に工夫と挑戦を続けてきた喜八さん。彼が作り上げてきた小山商店は日本酒の聖地であるだけでなく、今も昔も変わらず“関戸のよろずや”だった。

小山商店

地酒の小山商店は大正三年創業の東京都多摩市にある酒屋。全国より選り抜いたこだわりの日本酒を 800 種類以上、焼酎（芋、麦、米、黒糖）・泡盛類を 300 種類以上、大型冷蔵庫で最高の状態で管理、販売している。ワインについても国産ワインからドイツ・フランス・イタリアまでを揃え、クラフトビールやリキュール、国産ウイスキーも豊富にラインナップ。酒器や灯油も販売。多摩市内のお客様に酒種の配達も行う。

📍 多摩市関戸 5-15-17

🕒 10:00 ~ 19:00

定休日：毎月第 3 日曜

☎ 042-375-7026

<https://www.jizakenokoyama.co.jp/>



子どもがつくる子どものためのまちづくり体験

「こどものまち たま～co-tama」をご存じ？

主役は子どもたち。仕事体験を通して通貨をもらい、その通貨を使って買い物や遊びを楽しむイベントが2月10日から3日間、関戸公民館ヴィータホールで開催。

市民が自主運営する“学びの現在地”とは？

Interview: Teppy Ohashi

仮想まちづくりの場を通して、子どもも大人も学ぶ

「親の目を離れ、子どもたち一人ひとりが主役になって自由に何かをやってみる。ドイツで実施されている子どもだけで運営する“小さな仮想都市”『ミニ・ミュンヘン』を参考にし、有志による仲間たちと2017年秋に『こどものまち たま～co-tama』を総合体育館の会議室で開催しました。初回の参加者は延べ100人。翌年にも行い、コロナ禍を経て2024年2月10日から3日間、3度目となる開催に至りました」

こう話すのは矢田浩明さん。聖蹟桜ヶ丘在住歴15年、チームミニたまの代表を務めている。住民で話し合いながら生活の

一部を共同で運営する集合住宅「コレクティブハウス」（多摩市関戸4）の住人でもある。

「co-tamaは、子どもたちだけが活動する小さなまちです。まちという枠組みの中で何をするか、どんな決めごとが必要か、子どもたちがゼロから作り上げることができます。大人の固定化した価値観から離れ、自由に発想しながら行動し、疑似社会体験を通して“まち”に主体的に関わっていく楽しさを感じてもらえたら嬉しいです」

聞けば、初回に参加した子が高校生になり、ボランティアスタッフとして今回参加してくれたそう。矢田さんの夢は広がるばかりだ。



co-tama レポート

2024年2月10日から3日間、関戸公民館ヴィータホールにて4年ぶりにco-tamaを開催。議員や役所、銀行、デパート、革や木工や手芸の工房、ほかにも起業など、さまざまな職業や体験コーナーを作り、大盛況でした。



セイセキ歴史 Walk

#3 写真今昔物語



聖蹟桜ヶ丘駅構内・中2階コンコースから見た東口改札口の風景。自動改札機になる前までは改札口に担当の駅員が待機し、入場の際は改札ばさみで切符一枚一枚に切り込みを入れ、出場時にはそれを瞬時に確認しながら回収していた。クラウン街は当時、京王桜ヶ丘駅商店街の名称で親しまれていた。



現在の写真は、駅東口の聖蹟Uロード沿いの京王電鉄本社近くから京王聖蹟桜ヶ丘SC B館を望む風景。1984年に京王グループが聖蹟桜ヶ丘駅周辺総合開発に着手し、A館、B館が開業したのは1986年のこと。両館が開業する前は駅前に聖蹟桜ヶ丘駅バスターミナルがあり、駅を拠点としながら行き交う人たちで賑わいをみせていた。

サクテラスモール 本格開業へ

セイセキと東京建物

2024年2月4日、多摩川河川敷のすぐ近くにある新商業施設「サクテラスモール」のグランドオープンと、聖蹟桜ヶ丘駅と多摩川をつなぐ歩行者回遊軸（親水軸）の完成を記念した式典を開催しました。式典には地域住民の方をはじめ、一般の方々も来場していただき、新たな門出を多くの方々に周知することができました。

2つのレジデンスの間に建つ「サクテラスモール」は、多様な価値観が交差する聖蹟桜ヶ丘の中において家族のさまざまな幸せに寄り添う商業棟として誕生。敷地面積約2000㎡を有す3階建の建物に7店舗が入り、オールデイダイニング「LATTE GRAPHIC」や会員制アウ

トドアフィットネス「RIVER PARK 聖蹟桜ヶ丘」をはじめ、個室プライベートサウナ「ROKU SAUNA」、ゴルフスクール「STEPGOLF EXtra」、サステナビリティな保育環境を目指す「ウィズチャイルドかわのこほいく園」など、暮らしに彩りを添えるさまざまな業態の店舗をラインナップしています。

フィットネスで汗を流した後に多摩川を見ながらカフェでひと息ついたり、ゴルフレッスンの後にサウナで心身を整えたりといった風に、「サクテラスモール」という場を介して相乗効果が生まれるとしたら、リーシングに携わった者としてこれほど嬉しいことはありません。リバー

サイドからまちの賑わいが広がり、エリア全体の盛り上がりにも少しでも貢献できたらと思っています。

2025年1月には「サクテラスモール」の隣りにテラス棟「Brillia 聖蹟桜ヶ丘 BLOOMING TERRACE」が竣工され、サクテラス全街区が完成する予定です。地域住民の皆さまをはじめ、多くの方々が聖蹟桜ヶ丘北地区エリアにお越しいただけたらと思っています。

東京建物不動産販売
賃貸営業第二部
ビルグループ
水野秀昭



カラダを動かすって楽しいね

“習い事のまち” 聖蹟桜ヶ丘で始まった挑戦

訪れたのは多摩カルチャーセンター。幼稚園生から小学生まで、皆いきいきとした表情でダンスに夢中なご様子。スクール代表の塩野さんが大切にする“学び”とは？

SEISEKI
PEOPLE
6

Photo : Yu Kobayashi



studio CROSS.
聖蹟桜ヶ丘クラス

📍 多摩カルチャーセンター

🕒 8:00 ~ 22:00

☎ 042-505-8179

<https://studiocross.info>

一人ひとりと向き合う、ダンスを通じた“学びの場”



「ダンスを通じて子どもたちの運動能力と豊かな感性を育てていければと思っています。大切にしているのは、一人ひとりと向き合うこと。『習い事として楽しみたい』『プロを目指したい』といった風に、レッスンの目的は十人十色です。ダンスを楽しみながら健やかな心身になってくれたら、指導者冥利に尽きますね」

笑みをこぼしながらこう話すのは、塩野絢子さん。彼女は KIDS ストリートダンススクール「studio CROSS」の代表、25年にわたって子どもたちにダンスの楽しさを伝える“知る人ぞ知る”プロのダンサーでもある。

「聖蹟桜ヶ丘に教室を持ったのは2009年頃です。国立市内にスタジオを構え、普段は国立や高幡不動でもダンスレッスンをしています。現在、聖蹟桜ヶ丘の教室には幼稚園生から高校生まで40人ほどの生徒さんが在籍し、週に3コマ、一緒に汗を流しています。地域との関わりでいうと『せいせき桜まつり』や

『KAOFES』に参加していますよ。まちの行事は、日頃の練習の成果を披露する“大切な場”なんです。目標や目的に向かって熱心に取り組む子どもたちの姿はいつだってキラキラしています。一人ひとりのちょっとした成長を日々感じられるので、やりがいもひとしおです」

塩野さんが生徒たちに教えているのはダンス技術の習得だけにあらず。きちんとした挨拶、相手への礼儀、仲間への思いやりなど、レッスン中を含めた子どもたちとのやりとりを見るにつけ、人として大切なこともそっと教えているように感じた。

聞けば、塩野さんは国立生まれ国立育ち。友人が聖蹟桜ヶ丘エリアに住んでいたこともあり、学校帰りによく聖蹟桜ヶ丘に遊びに来ていたそう。30年以上前のお話だ。

「だから聖蹟桜ヶ丘のこと、とっても愛着があるんです。一緒にダンスを楽しみませんか？ その準備は整っていますよ」



から始めよう

ち多
から★摩
の

ミートアップ

1968年創立、今年で56周年
 これまで6,000人を超える
 “食の専門家”を輩出してきた
 東京多摩調理製菓専門学校。
 Tamachoの愛称で親しまれてきた
 聖蹟桜ヶ丘の学舎だ。
 毎年11月開催の「多摩調祭」は
 地域住民にも大人気。
 Tamachoが大切にしてきた
 地域とのつながり方とは？

東京多摩調理製菓専門学校
 製菓衛生師

菅谷正幸

×

京王電鉄
 SC 営業部
 京增多美恵

京増— ご挨拶したのは食と健康の祭典「たま食育フェスタ」の時でしたね。ステージイベント（京王聖蹟桜ヶ丘 SC A館6階アウラホール）でデモンストレーションをされていて。Tamachoさん、地域との関わりを大切にしている印象があります。

菅谷— 創立以来56年間、聖蹟桜ヶ丘で食を通した学びを伝えていきますからね。コロナ禍で開催できない年が続きましたが「多摩調祭」はお陰さまで毎年、地域住民の方々にも好評をいただいています。学生たちによる模擬店や手作りパン・菓子の販売、学生が自主運営するレストランも人気です。地域の皆さんとの関わりを育むことにみな、大きなやりがいを感じているんです。

京増— 今日見せていただいた製菓製パン科の学生さんによる作品は「Tamacho作品展」として京王聖蹟桜ヶ丘 SC AB館5階連絡ブリッジギャラリーで展示させていただくことになり、光栄です。学生さんの日頃の成果ですもんね。

菅谷— みな、喜んでいと思います。

学校のすぐ近くにある「つむぎ館」で開催される「つむぎ館まつり」では昨年、焼売とハスの葉包み蒸しを販売し、お陰さまで完売することができました。

京増— 多摩川河川敷の一ノ宮公園で行われる「KAOFES」にも出展されていましたよね。

菅谷— こちらは販売ブースに加え、昨年はお仕事体験ブースで「お菓子屋さんのお仕事」をテーマに参加させていただきました。こう話していると、聖蹟桜ヶ丘には年間を通してお祭りや行事が多いですね。地域住民の皆さんが主体的に取り組む行事が多いことは素晴らしいと思います。

京増— 今回の対談のテーマはミートアップから始めようです。Tamachoさんと何か新しいことを始めることができたら、嬉しいです。多摩の食材を使い、Tamachoの学生さんが何か作るとか、もしもできたら意義深いイベントになりそうですね。

菅谷— ぜひご一緒させてください。学生たちの学びにもなりますから。



写真左：Tamachoが「KAOFES」に参加した時の様子。学生が主体となり、子どもたちに「お菓子屋さんのお仕事」体験を教えた。中：「つむぎ館まつり」に出展。全て完売の人気ブースに。右：「Tamacho作品展」のパンフレット。学生による作品はどれも創造性豊か。

聖蹟桜ヶ丘かわまちづくりを紐解く 6 TOPICS

聖蹟桜ヶ丘を訪れた方たちに「川のある豊かな日常」を感じてもらいながら、エリア全体の賑わいをつくるため、地域に関わる方々が主体となって活用できる場所として2023年10月、「せいせきカワマチ」が誕生。その取り組みは？



① 愛称“せいせきカワマチ”に決定！

多摩市と地域が連携して進める聖蹟桜ヶ丘かわまちづくりの取り組みにおいて整備された多摩川河川敷エリアの「芝生広場」と「キッチンカースペース」について、地域の皆さんの投票により、その愛称が「せいせきカワマチ」に決定しました。「せいせきカワマチ」に親しみを持ってもらうこと、シティブランディングの象徴（シンボルマーク）として活用していくことを目的とし、ロゴマークも制作されました。



芝生広場



キッチンカースペース

② 地域の力でより楽しく使える空間に！ エリアマネジメント団体が運営中！

「せいせきカワマチ」は昨年設立された一般社団法人聖蹟桜ヶ丘エリアマネジメントが、多摩市との協定に基づき運営を担っています。芝生広場とキッチンカースペースの2つのエリアを、事前の申し込みにより、商品の販売やイベントなど様々な用途で活用することが可能です！利用ルールにあたる「利用ガイドライン」は地域の皆さまのご意見を踏まえ、エリアマネジメント団体と多摩市で協議しながら策定しています。地域の力を活かしたルール作りでより楽しく使える空間を実現していく新しい取り組みです。なお、利用申し込みや相談ができる窓口を「サケテラスモール」内の「RIVER PARK 聖蹟桜ヶ丘」にて定期開設中。詳しくは（一社）聖蹟桜ヶ丘エリアマネジメントのホームページにてご確認ください。

<https://seiseki.org/>

③ 活用実績、さまざまに！



キッチンカー



せいせき青空古本市



ロードシューズ試し履き会



かわまちびらき

芝生広場とキッチンカースペースでは、同エリアの賑わいづくりに資する施策を地域主体で、さまざまに実現しています。「せいせき青空古本市」や「ロードシューズ試し履き会」、キッチンカースペースを利用した、窯で焼いた自家製ピザの販売など、左の写真のとおり、イベント内容は多彩です。

④ 河川敷を快適に過ごせる グッズレンタル実施中！

「川のある豊かな日常」につながることを目的とし「せいせきカワマチ」ではグッズレンタルを実施しています。チェアやレジャーシートでくつろいだり、モルックやオゴディスク、ジャズミントンで遊んでみてはいかがでしょうか？ 詳細については以下にてご確認ください。

レンタルできる場所：RIVERPARK 聖蹟桜ヶ丘

レンタルできる時間：平日9時～17時 / 土日祝8時～17時

利用可能な場所：多摩川河川敷芝生広場
（せいせきカワマチ）

【料金表】

チェア1脚	300円
テーブル1台	300円
レジャーシート（2人用）1枚	100円
モルック1セット	200円
オゴディスク1セット	200円
ジャズミントン1セット	200円

（※現金は利用不可）

⑤ せいせきカワマチのこれから



上のイラストは「せいせきカワマチ」のエリア図です。新たに誕生した「芝生広場Bゾーン」では、事前申し込みにより火気の使用などさらに多様な活用ができるようになりました。詳細については聖蹟桜ヶ丘エリアマネジメントホームページに記載の「聖蹟桜ヶ丘多摩川河川敷広場等の利用ガイドライン」にてご確認ください。

⑥ 駅から河川敷までスムーズに！ 立体横断施設&直結動線を整備！



2024年2月1日、聖蹟桜ヶ丘駅方面と「サケテラスモール」「せいせきカワマチ」をつなぐ立体横断施設が開通し、聖蹟桜ヶ丘北地区における歩行者回遊軸（親水軸）が整備されました。今春には「せいせき立体駐車場」（京王駐車場）に接続され、駅から「せいせきカワマチ」へより快適に移動できるようになります！

「京王あそびの森 HUGHUG」に 新アトラクションが誕生！

同日（3月13日）、「京王れーるランド」も
リニューアルオープン！

聖蹟桜ヶ丘駅から最速10分！多摩動物公園駅すぐの、木育・知育・体育をテーマとした全天候型屋内施設「京王あそびの森 HUGHUG」に、都内初となる屋外アスレチックタワーと日本最大のキッズコースからなる「HUGTRATOPS（ハグトラトプス）」が2024年3月13日にオープン。「ハグトラトプスは子どもも大人も楽しめる施設です。五感を使う多彩なアクティビティに挑戦しながら、家族やご友人との絆を育んでもらいたいです」

こう話すのは館長の大西さん。聞けば、アスレチックタワーは全37種のアスレチックアイテムを設置し、好きなコースを選んで進むことができ、最上層部分は向かい側にある多摩モノレールと同程度の高さになり、ここでしか味わえない爽快感な展望をスリル満点に楽しめるそう。

「キッズコースも趣向を凝らした設計です。大人と同様に本格的なハーネスを装着し、高さ1メートル強のコースを一筆書きに進んでいただけます。アスレチックアイテムは日本最大の全32種類。3つのコースがあり、年齢や体力に合わせて自由にコースを選べます。保護者の方が付き添いサポートすることもできるので安心して楽しんでいただけたと思います」

同施設と隣接する「京王れーるランド」もリニューアルオープン。

「本館2階のプラレールコンテンツを拡充し、フロアの一部を改装しました。新登場の『プラレールペイント工房』ではデザイン視点の自由な感性で遊べますよ」

今回紹介するのは…
京王電鉄 鉄道営業部
大西麻由美



市民ライター募集中！

京王電鉄と情報誌『BALL.』を発刊するけやき出版は共同で、聖蹟桜ヶ丘の街の魅力を取材・発信し、地域の価値創造を目指す取り組みのひとつとして、市民参加型ローカルマガジンの発行を行っています。本誌は、聖蹟桜ヶ丘“People”ガイドをテーマに、毎号1つのテーマを決め、聖蹟桜ヶ丘エリアと所縁のある「人の想い」にフィーチャー。本誌では、有志の市民ライターとして聖蹟桜ヶ丘の“街の魅力”を深掘りする方々を広く募集しています。

〔問い合わせ先〕

けやき出版

TEL : 042-525-9909 (平日 9時～18時)

MAIL : e-info@keyaki-s.co.jp

まちの掲示板

聖蹟桜ヶ丘周辺で飼い主不明猫を減らす活動をしている「Seiseki Cats Meeting」。多摩市の猫ボランティアとして、一匹でも多くの猫が幸せに暮らせる家を見つけるため、「桜ヶ丘キリスト教会」にて月に一度、保護猫の譲渡会を行なっています。開催日時については以下にてご確認ください。@seiseki.cats.mtg

編集後記

『セイセキ ZINE #3』の発行にあたり、多くの市民の方々のご協力をいただきました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。市民ライターの皆さまと編集会議を重ね、インタビュー取材と撮影、原稿執筆という流れで誌面づくりを進めていきました。今号のテーマは「大人も子どもも楽しもう。聖蹟桜ヶ丘には話したくなる春がある」です。草木が芽吹き、咲き始める花々が鮮やかさを増す春が到来します。新しい季節を感じながら、まち歩きを楽しんでいただけたら嬉しいです。

市民ライター

安藤賢さん、大橋徹平さん、恩田環さん、小林ゆうさん、古前遥香さん、松竹暢子さん、KAEDesignさん



セイセキ ZINE とは？

セイセキ ZINE (セイセキジン) は毎号1つのテーマを決め、聖蹟桜ヶ丘エリアと所縁のある「人の想い」にフィーチャーする、市民参加型ローカルマガジンです。多摩市在住の有志の市民ライターを募り、セイセキ愛に満ちた誌面づくりをしていきます。